

(一社)山口県歯科技工士会生涯研修

演題『症例に応じた効率的な人工歯排列と咬合』

抄録

この度の生涯研修では、総務省の職業分類・産業分類による、歯科技工士、の立ち位置と厚生労働省のコンプライアンスについて、皆様と共に考察して見たいと思っています。

そこで、我が国も超高齢化を迎え高齢者歯科医療も増加傾向にあります。また、歯科医療現場もデジタル機器の導入により、高度に発達した医療技術の進歩と共に無歯顎者の疾病構造も著しく変化し義歯の質的需要が高度化して来ています。無歯顎臨床の臨床モデルを客観的に分析解析し、症例に応じた患者固有の大切なガイドラインである咬合平面の設定基準と人工歯排列・咬合様式について講演させて頂く予定です。

また、義歯製作も客観的な根拠から効率的な製作システムの供給体制が求められ義歯製作の大切な要素であります。具体的には、解剖学に基づいた適切な部位に人工歯排列を行い、筋組織と口腔内に調和した咬合と咬合様式を付与することが重要であります。臨床の要は、担当歯科医師の診査診断と治療計画を基に、歯科技工士も共有し、各ステップを慎重に進められることが重要と考えています。

時間の許す限り歯科技工のあるべき姿について聴講して戴いた皆様とディスカッションし、有意義な生涯研修になれば幸いです。

佐藤補綴研究室 佐藤幸司